

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization UNESCO Associated Schools

ユネスコスクール便り

№84

令和2年2月4日
大牟田市I社JSK
担当者通信

「ユネスコスクール・ESD/SDGs 子どもサミット」開催！

令和2年1月11日(土)に、大牟田文化会館で「ユネスコスクール・ESD/SDGs 子どもサミット」が開催されました。市内の各学校のSDGs達成に向けた特色あるESDの取組に加え、宮城県気仙沼市立鹿折小学校の震災からの復興への取組の発表もあり、充実した内容のサミットとなりました。本年度は、小・中学校あるいは小・中・高等学校の合同の発表もあり、各学校の子ども達が、SDGsの目標を共有して連携・協力して取り組む姿が報告されました。講師である東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターの及川幸彦先生からは、それぞれの取組を「つながり」のキーワードで価値付けていただき、今後の取組の充実に向けたご示唆をいただきました。午後からは、「ユネスコスクール・SDGs/ESD教育委員会サミット」「ESDマスターティーチャー養成講座」も開催され、全国各地でESDを推進する教育委員会の方々や先生方が集まり、活発な意見交換が行われました。

今号では、「ユネスコスクール・ESD/SDGs 子どもサミット」の様子をお伝えします。



安田教育長が開会の言葉を述べられ、関大牟田市長、環境省田中様、文科省磯谷様、外務省照屋様よりご挨拶がありました。



会場の全員で「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた」宣言を唱和しました。ジャー坊も応援に駆けつけました。



明治小学校の発表。2年生が英語の歌を元気いっぱいに歌い、体全体で表現し、会場を元気にしました。



大牟田中央小学校と明治小学校の合唱「しあわせ運べるように」。東北の皆様へ心を込めた歌でメッセージを届けました。



東京大学の及川幸彦先生からは、各学校の取組を「つながり」をキーワードにご講評いただきました。SDGs達成に向けた学校間、学校と地域とのつながり、海とのつながり、過去と現在、未来のつながりによるそれぞれの取組を価値付けていただき、今後に向けた期待や願いをお話いただきました。



気仙沼市立鹿折小学校の発表。「海と生きる気仙沼」を守り、未来につなげていく発表でした。



田隈中学校、銀水小学校の発表。両校は連携しながらフラワープロジェクトを進めています。



駛馬小学校、宮原中学校、三池工業高校の発表。小・中・高が連携して宮原坑を盛り上げています。



ホワイトエに展示された、吉野小学校が作成したSDGsゲーム。幕間でも紹介されました。